



平成30年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成29年11月9日

上場会社名 東洋ビジネスエンジニアリング株式会社 上場取引所 東
 コード番号 4828 URL http://www.to-be.co.jp
 代表者 (役職名) 取締役社長 (氏名) 大澤 正典
 問合せ先責任者 (役職名) 専務取締役 業務管理本部長 (氏名) 片山 博 (TEL) 03-3510-1600
 四半期報告書提出予定日 平成29年11月10日 配当支払開始予定日 平成29年12月4日
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有
 四半期決算説明会開催の有無 : 有 (アナリスト向け)

(百万円未満切捨て)

1. 平成30年3月期第2四半期の連結業績(平成29年4月1日～平成29年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
30年3月期第2四半期	6,293	1.5	103	△73.7	102	△73.8	64	△73.2
29年3月期第2四半期	6,200	4.8	392	138.9	388	135.9	239	148.8

(注) 包括利益 30年3月期第2四半期 64百万円(△73.2%) 29年3月期第2四半期 239百万円(148.8%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
30年3月期第2四半期	10.71	—
29年3月期第2四半期	39.93	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
30年3月期第2四半期	6,677	3,651	54.7
29年3月期	6,668	3,670	55.0

(参考) 自己資本 30年3月期第2四半期 3,651百万円 29年3月期 3,670百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
29年3月期	—	8.00	—	14.00	22.00
30年3月期	—	11.00			
30年3月期(予想)			—	11.00	22.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成30年3月期の連結業績予想(平成29年4月1日～平成30年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	13,300	0.1	500	△30.1	490	△31.2	280	△36.2	46.67

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無
 (連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)
 新規 一社(社名) 、除外 一社(社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	30年3月期2Q	6,000,000株	29年3月期	6,000,000株
② 期末自己株式数	30年3月期2Q	534株	29年3月期	534株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	30年3月期2Q	5,999,466株	29年3月期2Q	5,999,466株

※ 四半期決算短信は四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、当社としてその達成を約束する趣旨のものではありません。実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。上記予想に関連する事項につきましては、添付資料3ページの「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	5
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	7
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、輸出が緩やかに増加し、企業収益が改善するなかで設備投資は増加基調を示しており、景気は緩やかに拡大しています。

情報サービス産業におきましては、顧客の情報化投資姿勢は必ずしも一様ではないものの、情報化投資全体としては堅調に推移することが見込まれます。

このような状況のもと、当社グループは、コンサルティングサービス、ソフトウェア製品、システム構築、運用・保守サービス、クラウドサービス等、顧客の経営課題解決に貢献する付加価値の高いソリューションの提供に努めました。

当第2四半期連結累計期間の業績につきましては、受注高7,150百万円（前年同四半期比8.4%増）、売上高6,293百万円（前年同四半期比1.5%増）となりました。利益面につきましては、前年同四半期に比し大幅に減益となりました。主因は、システムサポート事業を展開する連結子会社の採算悪化と同社で発生した時間外手当に対する一時金による同事業の大幅減益、ならびにプロダクト事業における新製品の減価償却費増加とプロジェクト利益率低下等による同事業の減益です。営業利益103百万円（前年同四半期比73.7%減）、経常利益102百万円（前年同四半期比73.8%減）、親会社株主に帰属する四半期純利益64百万円（前年同四半期比73.2%減）となりました。

セグメント別の業績は次のとおりです。

①ソリューション事業

他社開発ERPパッケージ製品をベースとしたコンサルティング、システム構築につきましては、顧客のグローバル展開支援や情報の可視化を図る複合型ソリューションの提供を推進するとともに、顧客ニーズを踏まえた積極的な提案活動に努めました。当セグメントの受注高は4,684百万円（前年同四半期比4.7%増）、売上高は4,113百万円（前年同四半期比3.6%増）となりました。

②プロダクト事業

自社開発ERPパッケージ「mcframe」につきましては、引き続き、顧客・ビジネスパートナーとの関係強化を図り、ライセンス販売に注力いたしました。更に、新製品「mcframe 7」の販売促進と継続的なブランド力強化に取り組みました。当セグメントの受注高は2,372百万円（前年同四半期比19.9%増）、売上高は2,059百万円（前年同四半期比0.4%減）となりました。ライセンス売上高は1,067百万円（前年同四半期比3.2%増）となりました。

③システムサポート事業

東洋ビジネスシステムサービス株式会社が展開する運用・保守等のシステムサポート事業につきましては、引き続きシステムのライフサイクルサポートの充実にも努めました。当セグメントの受注高は92百万円（前年同四半期比34.7%減）、売上高は119百万円（前年同四半期比25.7%減）となりました。

※自社開発製品「mcframe」のブランド統合により、プロダクト事業のライセンス売上の範囲を当連結会計年度より変更いたしました。これに伴い、ライセンス売上高の前年同四半期比は変更後の数値に組み替えて算出しております。

(2) 財政状態に関する説明

①財政状態の分析

(資産の部)

流動資産につきましては、仕掛品の増加、受取手形及び売掛金の減少等により、前連結会計年度末と比較して26百万円減少し、4,432百万円となりました。なお、当第2四半期連結会計期間末の総資産に占める流動資産の比率は66.4%であります。

また、固定資産につきましては、有形固定資産及び無形固定資産の取得が有形固定資産及び無形固定資産の減価償却額を上回ったことにより、前連結会計年度末と比較して35百万円増加し、2,245百万円となりました。

これらの結果、資産の部の当第2四半期連結会計期間末残高は、前連結会計年度末と比較して8百万円増加し、6,677百万円となりました。

(負債の部)

負債の部の当第2四半期連結会計期間末残高は、短期借入金の増加、賞与引当金の減少、未払法人税等の減少

等により、前連結会計年度末と比較して28百万円増加し、3,026百万円となりました。

(純資産の部)

純資産の部の当第2四半期連結会計期間末残高は、親会社株主に帰属する四半期純利益を計上したことによる増加、剰余金の配当による減少により、前連結会計年度末と比較して19百万円減少し、3,651百万円となりました。

以上の結果、当第2四半期連結会計期間末の自己資本比率は、前連結会計年度末と比較して0.3ポイント減少し54.7%となりました。

②キャッシュ・フローの状況の分析

当第2四半期連結累計期間末における現金及び現金同等物は、前連結会計年度末と比較して89百万円減少し、711百万円となりました。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動によるキャッシュ・フローは、税金等調整前四半期純利益102百万円を計上し、減価償却費377百万円、売上債権の減少136百万円等が、賞与引当金の減少167百万円、たな卸資産の増加135百万円等を上回ったことにより、全体として148百万円の収入(前年同四半期687百万円収入減)となりました。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動によるキャッシュ・フローは、有形固定資産の取得及び無形固定資産の取得(自社開発ERPパッケージ「mcframe」の開発投資等)による支出等により、全体として453百万円の支出(前年同四半期12百万円支出増)となりました。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動によるキャッシュ・フローは、短期借入金の純増減額の増加、配当金の支払による支出により、全体として216百万円の収入(前年同四半期470百万円収入増)となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

連結業績予想は平成29年8月3日公表の予想値より変更ありません。

なお、当社グループの業績特性としましては、受注案件の納期が各四半期末に集中する傾向があり、特に第2および第4四半期末にはこの傾向が一層顕著となります。このため、各四半期毎に業績は変動し、特に第2および第4四半期に大きく変動します。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成29年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成29年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	800,766	711,665
受取手形及び売掛金	2,741,698	2,604,447
仕掛品	241,442	377,255
その他	674,907	738,807
流動資産合計	4,458,815	4,432,176
固定資産		
有形固定資産	133,550	139,855
無形固定資産		
ソフトウェア	1,543,670	1,571,361
その他	0	0
無形固定資産合計	1,543,670	1,571,361
投資その他の資産		
その他	538,323	539,886
貸倒引当金	△5,499	△5,499
投資その他の資産合計	532,823	534,386
固定資産合計	2,210,044	2,245,603
資産合計	6,668,859	6,677,779
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	274,014	294,161
短期借入金	500,000	800,000
未払法人税等	211,497	109,245
前受金	616,061	652,389
賞与引当金	651,913	484,768
役員賞与引当金	35,000	-
品質保証引当金	35,639	12,913
受注損失引当金	17,508	-
その他	656,243	673,064
流動負債合計	2,997,877	3,026,543
負債合計	2,997,877	3,026,543
純資産の部		
株主資本		
資本金	697,600	697,600
資本剰余金	426,200	426,200
利益剰余金	2,547,420	2,527,675
自己株式	△239	△239
株主資本合計	3,670,981	3,651,236
純資産合計	3,670,981	3,651,236
負債純資産合計	6,668,859	6,677,779

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第2四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成29年4月1日 至平成29年9月30日)
売上高	6,200,334	6,293,532
売上原価	4,237,189	4,484,750
売上総利益	1,963,144	1,808,782
販売費及び一般管理費	1,570,238	1,705,510
営業利益	392,906	103,271
営業外収益		
受取配当金	897	907
その他	637	807
営業外収益合計	1,534	1,714
営業外費用		
支払利息	1,839	2,285
為替差損	3,845	650
その他	-	6
営業外費用合計	5,684	2,942
経常利益	388,756	102,043
特別損失		
固定資産除却損	48	-
特別損失合計	48	-
税金等調整前四半期純利益	388,707	102,043
法人税等	149,151	37,795
四半期純利益	239,556	64,247
親会社株主に帰属する四半期純利益	239,556	64,247

四半期連結包括利益計算書

第2四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成29年4月1日 至平成29年9月30日)
四半期純利益	239,556	64,247
四半期包括利益	239,556	64,247
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	239,556	64,247
非支配株主に係る四半期包括利益	-	-

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成29年4月1日 至平成29年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	388,707	102,043
減価償却費	274,379	377,145
賞与引当金の増減額(△は減少)	△62,788	△167,144
役員賞与引当金の増減額(△は減少)	△20,000	△35,000
品質保証引当金の増減額(△は減少)	△12,713	△22,725
受注損失引当金の増減額(△は減少)	93,915	△17,508
受取利息及び受取配当金	△898	△1,065
支払利息	1,839	2,285
為替差損益(△は益)	3,845	650
固定資産除却損	48	-
売上債権の増減額(△は増加)	635,249	136,614
たな卸資産の増減額(△は増加)	△381,340	△135,813
前渡金の増減額(△は増加)	37,174	22,163
仕入債務の増減額(△は減少)	△67,757	6,053
前受金の増減額(△は減少)	78,953	36,328
その他	42,697	12,625
小計	1,011,312	316,651
利息及び配当金の受取額	898	1,065
利息の支払額	△1,785	△2,330
法人税等の還付額	-	131
法人税等の支払額	△174,098	△167,160
営業活動によるキャッシュ・フロー	836,327	148,358
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△9,019	△49,840
無形固定資産の取得による支出	△432,584	△383,378
貸付けによる支出	-	△20,000
その他	△163	△704
投資活動によるキャッシュ・フロー	△441,766	△453,922
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額(△は減少)	△200,000	300,000
配当金の支払額	△54,272	△83,537
財務活動によるキャッシュ・フロー	△254,272	216,462
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	140,287	△89,101
現金及び現金同等物の期首残高	518,578	800,766
現金及び現金同等物の四半期末残高	658,866	711,665

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

税金費用の計算

税金費用については、当第2四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。